

科目区分	専門科目(選択科目)			
授業名	国家試験対策 (美容基礎技術及び理論)		担当講師	
内容 (授業概要)	美容師免許取得を目指す。実際の美容師国家試験実技の模擬試験を行う中で、衛生取扱い及び実技課題を合格レベルまで引き上げる。筆記試験は、新制度7課目5分野の総合模擬試験を繰り返す。	学科	美容学科	
		学年クラス	2年	
		設定時期	通年	
		回数	90回	
		時間数	1回=1時限 50分×3限(3時間)	
目標	美容師免許を確実に取得するため、美容師国家試験課題中心に、実技・学科の対策授業を行う。			
授業計画	国家試験対策	270h	1～3回	●ワインディング ・美容師国家試験課題構成 ・美容師国家試験課題 採点のポイント
			4～10回	●ワインディング(全頭20分巻き) 採点箇所習熟度チェック ・仕上がり状態(巻き残し・未完成) ・フロント構成(パートライン ラウンドした収まり) ・サイド構成(水平なロッドの収まり) ・ロッドの方向性とステムの角度 ・ロッドの種類と配列 ・輪ゴムの掛け方とロッドの巻き収めの状態
			11～23回	●オールウェーブセッティング 全頭25分 採点箇所習熟度チェック ・全体のバランス 7段構成 つながり ・フィンガーウェーブ構成 ・ピンカール構成 ・ピニング
			24～30回	●ワインディング・オールウェーブ 衛生取扱い 採点ポイント ・準備時間中に実施する用具類審査項目 ・作業時間中に実施する審査項目 ・作業終了後に実施する審査項目 ●習熟度チェック ・ワインディング 20分 採点項目によるチェックテスト ・ノーパート7段構成 25分 採点項目によるチェックテスト
			31～60回	●カッティング ・カットプロセス 展開図 トップ フロント サイドのレイヤー フロント フェイスライン 正中線 セイムレイヤー バケットツプレイヤー ネープ アウトライン アンダーセクションレイヤー カットラインチェックプロセス
			61回～80回	●美容師国家試験課題ワインディング/オールウェーブセッティング ・ワインディング 18分間 修正2分間 採点ポイント確認 ・オールウェーブノーパート7段構成 23分間 修正2分間 採点ポイント確認 ・カッティング ベースカット16分間 チェックカット4分間 採点ポイント確認 ●衛生実技 ・作業開始前の静的審査ポイント ・作業中の動的審査ポイント ・作業終了後の確認的審査

			●学科試験対策 ・関係法規・運営管理 衛生管理 美容保健 香粧品化学 美容技術理論 81～90回 出題ポイント 確認小テスト ・総合模擬試験 国家試験過去問・想定問題 4択解答 100分間模擬テスト
授業方法	実技試験対策は実習方式を基本に、モデルウィッグで行う。 筆記試験対策は模擬試験を中心に行う。		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修(4年以上の者が受講)で教員免許を取得。美容師としての実務経験を活かし、美容師養成に向けて授業を展開する。		
教科書	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 美容実習Ⅰ・Ⅱ(日本理容美容教育センター 発行) 国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター 発行) 関係法規・運営管理・衛生管理・保健・香粧品化学・美容技術理論ⅠⅡ・文化論(日本理容美容教育センター発行)		
用具	モデルウィッグ クランプ タオル コーム類 ロッド、ペーパー ゴム 台皿 スプレイヤー セットローション スポイド ピン類 ブラシ類 ドライヤー シザーズ ダッカール 衛生用具類 筆記用具		
履修上の注意事項	実技授業に参加する服装として必ず白衣と本校指定の上履き着用する事。また長い髪はまとめて作業に適した髪型にする。 腕時計、指輪、ピアスなどのアクセサリ等は外して実習を行う事。 美容師実技試験合格に向けて器具・用具の衛生取り扱い動作にも気を配り実習に臨む事。		